

長野県知事の意見

(一般国道 153 号伊駒アルプスロード計画段階環境配慮書)

[全般]

- 1 方法書以降の図書の作成においては、事業に係る目的や複数案の絞込みの経過等について丁寧に記載し、より分かりやすい図書となるよう努めること。

[地形・地質、景観]

- 2 重要な地形・地質として、天竜川右岸の河岸段丘及び新期断層が記載されているが、段丘崖は景観保全や緑地保全の観点からも重要であることから、詳細なルート及び構造の検討に当たっては十分に配慮すること。また、方法書以降の手続においては、段丘崖や新期断層等の地形・地質について、専門家等からの助言を踏まえて調査、予測及び評価を行い、適切な環境保全措置を検討すること。

[動物、植物、生態系]

- 3 事業実施想定区域及びその周辺区域は次の重要な動植物の生息地・生育地となっている可能性が高いため、詳細なルート及び構造の検討に当たっては十分に配慮すること。また、方法書以降の手続においては、専門家等からの助言を踏まえて調査、予測及び評価を行い、適切な環境保全措置を検討すること。

<動物>

- ・昆虫類：ミヤマシジミ、スジグロチャバネセセリ、オオムラサキ
- ・魚 類：スナヤツメ、アカザ
- ・両生類：ナゴヤダルマガエル、トノサマガエル、アカハライモリ
- ・鳥 類：アカモズ、イカルチドリ、オオタカ、ハチクマ、ハヤブサ

<植物>

- ・カワラニガナ、ミチノクフクジュソウ、スズサイコ、キキョウ、ナガエミクリ、イトトリゲモ、ミズオオバコ

- 4 河岸段丘林について野生動物の重要な移動ルートとして利用されている可能性が考えられるため、詳細なルート及び構造の検討に当たっては十分に配慮すること。また、方法書以降の手続においては、専門家等からの助言を踏まえて利用状況の調査、予測及び評価を行い、必要に応じて適切な環境保全措置を検討すること。